

●申込用はがきの記入要領●

住所 電話番号 氏名 性別()・年齢()歳 職業	40 住位 都留市上谷五―七―一 谷村工業高等学校 開放講座 係
--	--

往信用はがき (表)

(記入しないで下さい)	40 復信 申込者の住所 (氏名を記入して下さい)
-------------	------------------------------------

復信用はがき (表)

家庭教育

家庭の雰囲気(八)

家庭の雰囲気をつくる中心は両親です。父親は雰囲気をつくる主役です。だから父親は気を平らに持ち、どんなに苦しいこと、どんなに嫌なことがあっても動じないで家を守る大切です。また、

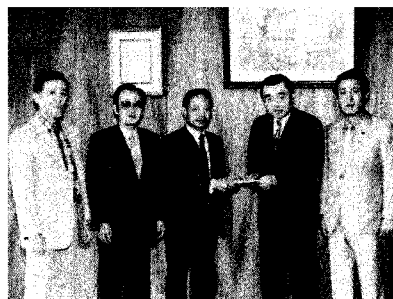
子供とよく遊び話し合うようにしてもらいたいです。父親が子供に好かれている、頼りがいがあると思えば、子供が一層可愛くなります。父が「ただ今」と帰ると、子供がぱっと居なくなるようでは父

親として望ましくありません。しかしお父さんというものはいつもニコニコしていれば良いと言うものはありません。一年に一度や二度は子供に「駄目」といえる親であってほしいのです。いつも「駄目」ばかり言うのでなくどうして認められないことは毅然として「駄目」を言ってもいいのです。いつも子供に「ただ今」と帰ると、子供がぱっと居なくなるようでは父

頼りになるのです。次に母親ですが、決して子供の前で父親の悪口を言っではなりません。「あんなお父さんと結婚するのではなかった」とか「今夜もどうせマ―ジャンでしょう」とか「今夜も酔っ払いの午前様か」と言うようなことを子供の前で言うことをやめましょう。それは父と母の間にすま風が吹いていることを、子供に見せているようなものです。子供の小さいうちは何も言いま

せんが心は傷ついています。また、大きくなると子供は両親を批判信用しなくなり相手を悪口を決して言ってしまうのです。父親が遅くなっても「残業でたいへんなのよ」「会社の付き合いもあるのよ」と言うようにして父親をたてることが望ましいのです。

教育相談室
☎(43)1111



(小学校低学年の部)
おばけになったアサガオのたね
まいこはまいごじゃありません
かみなり雲がでたぞ
わすれられないおくりもの

(小学校高学年の部)
ねこのポチ
新ちゃんがないた!
ある池のものがたり
大地震が学校をおそった
(中学校の部)
冬のイニシャル

深海6000メートルの謎に
いどむ
鳥がまた歌う日
(高等学校の部)
ゼルマの詩集
我利馬(ガリバー)の船出
白夜の国のヴァイオリン弾き

ロータリー文庫の充実費として
都留ロータリークラブが寄附!!(中村錦蔵会長)

本市の「図書館資料の充実と、教育・文化の発展に」とロータリー文庫充実費として十萬円の寄附をいただきました。

この寄附金は昭和六十一年度にロータリー文庫設立基金として百萬元の寄附をいただきました。